
第14回 日本水大賞
2012 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第14回日本水大賞において、栄えある「大賞（グランプリ）」を受賞されました「トイレの未来を考える会」の皆様、「審査部会特別賞」を受賞されました「特定非営利活動法人びわこ豊穡の郷」の皆様、誠におめでとうございます。

「トイレの未来を考える会」におかれましては、東日本大震災後の停電や上下水道が機能しない状況において、衛生的で快適な排泄環境を整えるのに大いに貢献されました。また、「びわこ豊穡の郷」におかれましては、モデル河川づくりとして、中州の造成や河川清掃、川岸補修、除草作業等の地道な活動により、荒廃した河川環境を豊かな生態系の河川へと復活されました。皆様の受賞を大変うれしく思います。

滋賀県では、平成23年10月に改定した「マザーレイク21計画」の中で、琵琶湖流域生態系の保全、再生と、暮らしと湖のかかわりの再生を柱に掲げており、県といたしましても、皆様の活動を頼もしく感じております。

今回の受賞を励みに、今後ますますご活躍されることをお祈りいたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成24年6月26日
滋賀県知事 嘉田 由紀子

祝 辞

「第14回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

国土交通大臣賞を受賞された「全国水環境マップ実行委員会」は、統一的なマニュアルに基づき、過去8年間、全国のおよそ6000地点の水辺で水質調査を実施することにより、継続的なデータの集積、調査結果の有効な活用、市民ネットワークの形成など、身近な水環境に対する啓発活動を行われてきました。

経済産業大臣賞を受賞された「サントリーホールディングス株式会社」は、こどもたちに水の大切さを知ってもらう環境教育への取組や森林整備者の育成など、幅広い水源涵養活動を長期にわたって続けられており、企業の社会貢献活動をつうじて健全な水資源確保に努められてきました。

このような皆様の着実な活動が高く評価され、今回の受賞につながったものと思います。

現在、都においては、東日本大震災後の新たな社会経済状況に対して、防災対策、エネルギー政策を大きな柱とした「2020年の東京」計画を策定し、その施策の中で、「水の都東京」の再生に向けた水質改善の推進や水辺を活用した賑わいの創出を図り、川や海などの水辺空間が、都民により一層身近なものとなるよう取り組んでいます。

受賞された皆様方におかれましては、今回の受賞を契機に、水資源や水環境の保全・再生に向けて、益々ご発展ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成24年6月26日
東京都知事 石原 慎太郎

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第14回日本水大賞「環境大臣賞」を受賞された「久保川イーハトーブ自然再生協議会」、「審査部会特別賞」を受賞された「北上川リバーカルチャーアソシエーション」の皆様、心からお祝いを申し上げます。

「久保川イーハトーブ自然再生協議会」におかれましては、外来種の排除活動など久保川流域の保全再生に多様な主体の協働で取り組まれており、地域住民や訪問者などへの普及・啓発活動及び環境教育として模範になるものと高く評価されたものと伺っています。

また、「北上川リバーカルチャーアソシエーション」におかれましては、エジプト・ナイル川と姉妹河川提携を結び交流を深め、平泉の世界遺産登録への県民の士気高揚とエジプトの支援の確保に尽力されており、震災で落ち込んだ県民の心を勇気付けた国際河川交流活動が賞に相応しいと評価されたと伺っています。

岩手県では、人と自然とが共生する川づくりについて多様な主体との協働で進めることとしており、本県にとりまして今回の受賞は大変喜ばしく心強い限りです。

今回の受賞を契機としまして、皆様の活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成24年6月26日
岩手県知事 達増 拓也

祝 辞

第14回日本水大賞の「厚生労働大臣賞」を受賞された「多摩川源流研究所」の皆様、心からお祝い申し上げます。

このたびの受賞は、水資源の大切さを学ぶ「源流体験教室」を通じて、自然・文化の保全・再生や流域住民との連携を推進する活動を、源流研究所、役場職員及び村民が一丸となって取り組まれた結果が高く評価されたものであり、皆様のご努力に深く敬意を表します。

おいしい水やきれいな空気を創ることは、本県のような緑豊かな自然環境に恵まれた森林県の役割であり、上流地域、水源地域としての存在意義や価値を認識したうえで、その役割を果たしていく必要があります。このため山梨県では、平成17年3月に策定した「山梨県水政策基本方針」に基づき、貴重な資源である水を将来にわたって創り、守り、活かしていくとともに、豊かな水資源を活かした地域振興を図っていくため、様々な分野において水政策を進めております。

多摩川源流は、清らかな流れと深い森に包まれた自然の宝庫であり、首都圏の水瓶として流域の人々の暮らしを支える大変重要な役割を果たしております。今回の受賞を契機に、今後も流域連携による地域振興と人材育成への取り組みにご尽力いただきますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

平成24年6月26日
山梨県知事 横内 正明

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第14回日本水大賞「農林水産大臣賞」を受賞されました「メダカ里親の会」の皆様、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

平成7年の発足以来、栃木県内の水路、小河川など“春の小川”を対象として、メダカやドジョウなどの保護や調査・研究をはじめ、「田んぼの学校」による環境教育を産官学などと連携し取り組んできた「メダカ里親の会」の活動は、第4回日本水大賞「市民活動賞」をはじめ数々の表彰を受賞されるなど高く評価されてきました。

現在では更にその活動を広げられ、図鑑の発行やシンポジウム・研修会の開催等による啓発・啓蒙や水田魚道の開発や普及など、全国の活動組織の手本となっていること、また集積された知見は学術的に大変貴重なものとなっていることが高く評価され、今回の栄えある受賞となったものと伺っております。

今回の受賞を契機に、「メダカ里親の会」の活動が今後ますます発展することをお祈りいたしますとともに、皆様のこれまでのご努力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成24年6月26日
栃木県知事 福田 富一

祝 辞

第14回日本水大賞「文部科学大臣賞」を受賞された気仙沼市立大谷小学校・大谷中学校の皆様、「国際貢献賞」を受賞された東北大学災害制御研究センター津波工学研究分野の皆様、誠におめでとうございます。

気仙沼市立大谷小学校・大谷中学校の皆様におかれましては、長年にわたって「松枯れ」「磯焼け」の仕組みや発生原因を学習し、松林や海藻群落の復元に向けて地道な取り組みを行ってきたこと、また「ふゆみずたんぼ」での稲作体験や生き物調査を通して、農業や生物多様性について継続的に学習してきたことが高く評価されました。

また、東北大学災害制御研究センター津波工学研究分野の皆様におかれましては、海外から、研究・実務を担う多数の人材を受け入れ、各国に対して、我が国における津波被害とその経験を活かした世界最先端といわれる津波の解析・予測技術の伝承を行っていることが今回の受賞へとつながりました。

宮城県では、東日本大震災後に策定した「宮城県震災復興計画」に基づき、災害に強く安心して暮らせるまちづくりや、現代社会の課題を解決する先進的な地域づくりを目指しております。こうした中、復興の担い手でもある皆様の活動がこのような賞を受賞されたことを大変心強く思います。

今回の受賞を励みに、今後ますます御活躍されることを祈念いたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のお尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成24年6月26日
宮城県知事 村井 嘉浩

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第14回日本水大賞市民活動賞」を受賞された山本鉦太郎様並びに「2012日本ストックホルム青少年水大賞優秀賞」を受賞された千葉県立船橋芝山高等学校科学研究部生物班の皆様に、心からお祝い申し上げます。

山本様は、33年もの長きにわたり、執筆活動や講演に加え、演劇やミュージカル等、非常にユニークな手法により、江戸川、利根川、利根運河の文化的活動や手賀沼における水質浄化の呼び掛け等、千葉県を代表する河川で優れた啓発活動を展開されてきました。一方、船橋芝山高校科学研究部生物班は、13年間、代々の先輩方から営々と受け継いだ「芝山湿地」を研究テーマとし、地域の老人ホームや幼稚園とも連携した素晴らしい活動を続けておられます。

皆様方の地道でひたむきな取り組みは、まさに称賛に値します。

千葉県では、山本様をご活躍されている手賀沼において水質浄化対策を進めており、また、船橋芝山高校のホームグラウンドである「芝山湿地」が位置する海老川水系等では、地域の皆様も参画した流域水循環健全化の取り組みを進めております。皆様方の御功績は、他の団体の模範ともなり、励みにもなることと思えます。

今回の受賞を契機に、皆様の活動の輪がさらに広がり、地域の水環境を守る取り組みがより一層盛んになることを心から祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成24年6月26日
千葉県知事 森田 健作

祝 辞

この度、群馬工業高等専門学校環境都市工学科青井研究室の皆様が、第14回日本水大賞未来開拓賞を受賞されましたことを心からお祝い申し上げます。

このたびの受賞は、皆様が平成7年から取り組み、17年かけて実用化に成功した、独自の底泥資源化浚渫技術が、水環境や生態系の保全に大きな役割を果たすことが期待されると評価されたものであります。

近年、池沼等の生態系豊かな水辺空間が失われつつある中、水を抜かずに底泥のみを回収し、ゴミ・洗い砂・脱水土に分離する全く新しい浚渫技術は、水環境の保全や資源の循環利用、豊かな生態系の復元に大きく寄与することと確信しております。

群馬県では、群馬県総合計画「はばたけ群馬プラン」において、水環境の保全を県の重点施策に位置づけ、水環境を再生する取組を推進しております。

こうした中、皆様が今回栄えある賞を受賞されましたことは、大変心強く、このような先進的な取組がさらに広がりを見せることを期待しております。

結びに、今回受賞された群馬工業高等専門学校環境都市工学科青井研究室の皆様のご長年にわたるご努力に心から敬意を表しますとともに、今後も末永く水環境の保全にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

平成24年6月26日
群馬県知事 大澤 正明

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

この度、特定非営利活動法人「河北潟湖沼研究所」が、第14回日本水大賞において「未来開拓賞」を受賞されましたことを、心からお祝い申し上げます。

「河北潟湖沼研究所」の皆様は、河北潟とその周辺地域において、生態系を脅かす外来植物を除去するだけでなく、それを堆肥化して農作物の栽培に利用することで、地域内で資源を循環させ、潟の水質向上につながる仕組みを構築されたとお聞きしております。さらに、その取り組みは地域住民を含めた多様な主体の参画のもとで行われ、環境保全活動と地域産業がしっかりと手を組むことで、持続可能な地域産業の発展にも大いに貢献していると伺っており、それらのご功績が高く評価されたものと思います。

河北潟の水質浄化につきましては、県としても、生活排水や農地排水の流入対策のほか、セラミックスなどを活用した水質改善に取り組んでおり、皆様方の熱心な活動を大変心強く思う次第であります。今後とも皆様方と力を合わせ、水質浄化に取り組んでまいりたいと考えております。

「河北潟湖沼研究所」の皆様、そしてその活動を支えてこられた関係の方々のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成24年6月26日
石川県知事 谷本 正憲

祝 辞

雨は、大地を潤し海へと流れ、蒸発して雲となり、再び雨となって降り注ぐ。

「水の恩はおくられぬ」。水は地球を循環し、すべての生きものはその恩恵を受けながら暮らしています。

日本建設技術株式会社の皆さまは、ごみとして自然に負荷をかけていたガラス廃材にミラクルソルとして新たな命を吹き込み、水質浄化という役割を見出されました。水の恵みに感謝し、自然を大切にすすばらしい取り組みだと思えます。

佐賀県は、平成16年度のトライアル発注でミラクルソル水質浄化システムを使用し、いち早くその効果を確認しました。

このたびの受賞は、皆さまが尽力された河川水の浄化、公園修景池のアオコ対策・透視度改善、食品加工排水の浄化、水産養殖飼育水の浄化などの実績が評価されたとともに、水の恵みを未来へ引き継ぐ技術の開発と普及が今後ますます期待されることから、未来開拓賞を受賞されたことと思えます。

今後も、「材料から工法まで環境負荷を低減する」という熱い思いを胸に、環境保全への貢献とともに、ふるさと佐賀から日本の新しい未来を切り拓いていただくことを期待いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成24年6月26日
佐賀県知事 古川 康

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

青森県立名久井農業高等学校 TEAM FLORA PHOTONICS の皆さん、2012日本ストックホルム青少年水大賞「大賞」の受賞、誠におめでとうございます。

このたびの受賞は、東日本大震災の津波被害を受けた名勝・種差海岸に自生する希少種サクラソウの保護活動や、被災地の方々と一緒に塩害花壇の再生活動に取り組まれるとともに、塩害により劣化した土壌の再生にマイクロバブル水の利用が効果的であることを科学的に明らかにしたことが、被災農地の復旧や水・土壌環境修復技術として期待されると高く評価されたものと伺っております。

青森県では、豊かで美しい自然環境の保全、及び生物多様性の確保に取り組み、暮らしの中で自然の素晴らしさを実感できる環境づくりを進めています。このような中で、皆さんの活動が栄えある「大賞」を受けられたことは大変意義深く、震災からの復興を加速させ、かけがいのない自然をより良い形で次代に引き継ぐ、素晴らしい活動であると思います。

ストックホルムにおける国際コンテストにおいても、高校生らしい若さと情熱をもって発表されることを期待しています。

今回の受賞を契機として、皆さんが今後ますます御活躍されることを祈念して、お祝いの言葉といたします。

平成24年6月26日
青森県知事 三村 申吾